

大会名 Competition	第32回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-110	Year Month Day Time 2019 年 5 月 4 日 17 : 35
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
明	成	福大大濠
	52 ●	66 ○
	(12 1st 21 10 2nd 11 11 3rd 28 19 4th 6 0 T)	

主審:Crew chief
佐藤 匠 秋田
副審:Umpire
北沢あや子 岩手
伊藤 睦哲 岩手
テーブル・オフィシャル:Table officials
能代高校男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	✓	小川 祥英		3	1	0	0	1	4	×	西田 公陽	CAP	10	0	5	0	0
5	✓	一戸 啓吾		4	0	1	2	0	5	✓	高木 寛大		2	0	0	2	1
6	×	越田 大翔		6	0	3	0	0	6	✓	田邊 太一		9	1	2	2	4
7	×	木村 拓郎	CAP	2	0	1	0	0	7	×	間山 柊		2	0	0	2	1
8	×	菱倉 崇人		6	0	3	0	0	8	×	木林 優		15	1	5	2	1
9	×	加藤 陸		10	1	1	5	5	9	×	黒木 丈		0	0	0	0	2
10	✓	山内 ジェル琉人		3	1	0	0	0	10	×	平松 克樹		13	2	1	5	1
11	✓	浅原 紳介		0	0	0	0	1	11	✓	杉 渉夢		0	0	0	0	1
12	×	蒔苗 勇人		3	1	0	0	1	12	✓	山際 爽吾		0	0	0	0	2
13	✓	喜多 陸登		0	0	0	0	2	13		岩下 准平		-	-	-	-	0
14	✓	山崎 紀人		2	0	1	0	4	14	×	横地 聖真		13	3	1	2	0
15		玉手 孝明		-	-	-	-	0	15	✓	岩橋 史門		0	0	0	0	1
16	✓	清水 晃		0	0	0	0	1	16	✓	原田 大和		0	0	0	0	0
17	×	山内 ショウ和哉		6	0	1	4	2	17	✓	針間 大知		2	0	0	2	0
18	✓	河合 海輝		7	1	2	0	2	18	✓	島崎 輝		0	0	0	0	1
コーチ		佐藤 久夫						0	コーチ		片峯 聡太						0
コーチ		高橋 陽介						0									0
合 計				52	5	13	11	19	合 計				66	7	14	17	15

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	10	19.23%	加藤 陸
2	7	13.46%	河合 海輝
3	6	11.54%	越田 大翔

1	15	22.73%	木林 優
2	13	19.70%	平松 克樹
3	13	19.70%	横地 聖真

Score ranking[Game]

1	15	木林 優	福大大濠	2	13	平松 克樹	福大大濠	3	13	横地 聖真	福大大濠
---	----	------	------	---	----	-------	------	---	----	-------	------

本日の1戦目で、開志国際に敗れた明成と、中部大ーに粘り勝ちした福大大濠との対戦。

1Q、福大大濠はマンツーマン、明成はゾーンディフェンスでスタート。両チームとも厳しいディフェンスを攻めきれず、重い立ち上がりとなる。福大大濠は3PとFTで少しずつ得点を重ねる一方、明成は開始4分、#17山内がインサイドでようやく初得点。その後、両チームともメンバー交代で打開を試みる。明成は#9加藤と#4小川の3Pが連続で決まるなどで福大大濠に流れを渡さなかったものの、12-21で終了。

2Q、福大大濠はマンツーマン、明成はゾーンディフェンス。福大大濠の高さを兼ね備えたハードなディフェンスに対して、明成はなかなか得点に結び付けられない。一方の福大大濠も、ディフェンスから得たチャンスをなかなか生かせない。明成のハードなゾーンディフェンスに、大濠は#14横地を中心としたプレーでわずかにリードを広げるのみ。22-32で終了。

3Q、明成はゾーンディフェンス、福大大濠はマンツーマン。福大大濠は#4西田、#10平松が得点を重ね、#14横地も3Pを決めて明成のゾーンディフェンスを崩し始め、徐々に点差が開く。しかし明成はディフェンスの手を緩めることなく粘り、オフェンスでは福大大濠からファウルをもらった#17山内の連続フリースローで点差を詰める。終盤、福大大濠は#4西田、#6田邊の連続3Pが決まり、流れを掴む。33-60で終了。

4Q、明成はゾーンディフェンス。やや高い位置から激しく当たる。福大大濠はマンツーマン。開始2分のタイムアウトで、明成・佐藤コーチの檄が飛ぶ。一方、福大大濠の片峯コーチも、気を緩めないよう選手を鼓舞する。両チームとも得点が伸びないまま中盤に差し掛かる。明成が点差を詰めてくると、この試合で一番の檄が飛ぶ。ここで、より一層激しいディフェンスの勝負になる。52-66で試合終了。

点差は付いたものの、気持ちで勝つにはどうすべきかの手本となる好ゲームであった。